

小2国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 60.8%

ねらい：漢字の正しい読み取りができるかを問う。

分析と対策：(3)の「正門」や(4)の「野外」は、まだ発語する機会があまりない語ですが、それぞれ音読みする漢字であることを確認しておきましょう。

2 漢字の書きとり 93.1%

ねらい：漢字の正しい書き取りができるかを問う。

分析と対策：一画一画をていねいに書くようにしましょう。とめ・はね・はらいは、新しい漢字を学ぶたびに注意して覚えるようにしましょう。

3 ていねいな言い方 81.7%

ねらい：常体と敬体とが正しく使い分けられるかを問う。

分析と対策：「です」「ます」は「でし(た)」「まし(た)」、「でしよ(う)」「ましよ(う)」など、後に続くことばによって形が変わります。また、(3)の「食べなかった」を「食べませんでした」と表すときのように、「ます」と「です」を組み合わせる言い方も確認しておきましょう。

4 主語とじゅつ語 67.5%

ねらい：「何が・どうする」「何が・どんなだ」「何が・何だ」という文の基本的な形の理解を問う。

分析と対策：主語と述語をつなげると意味が通る文になることを、選択肢のことばを一つずつつなげて確かめてみましょう。

5 音やようすを表すことば 89.2%

ねらい：擬音語と擬態語の違いについて理解を問う。

分析と対策：擬音語と擬態語の違いは、実際にそのような音が出ているかどうかの違いです。(1)「こおりがパキパキとわれる」の「パキパキ」のように、音を表すことば(擬音語)は、実際にそのような音が聞こえるかどうか確かめてみましょう。(2)「ハキハキとへんじをする」の「ハキハキ」は、話し方などがはっきりしている様子を表します。実際にそのような音が聞こえるわけではないので、様子を表すことば(擬態語)です。

6 せつ明文の読みとり 80.6%

ねらい：語句の意味や、文章の内容が正しくとらえられているかを問う。

分析と対策：身のまわりの草を探しに出かけるときに気をつけるべきことや持っていくとよいものについて書かれた文章です。まず出かける目的の把握が(1)で、そのときにふさわしい服装については(2)(3)で、持ち物について(4)で問われます。(5)は大研究をする途中で草のほかに見つかる「おもしろいもの」の具体例を本文中から探す問題です。(6)の内容一致問題は、選択肢の一つ一つを本文と照らし合わせて、どの部分が本文と合っていて、どの部分が合っていないかを確認しましょう。

全体の平均点は79.8点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。